

令和4年度 静岡市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和5年4月

静岡市（静岡地区）（静岡県）

○計画期間:令和4年4月～令和9年3月(1年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和4年度終了時点(令和5年3月31日時点)の中心市街地の概況

令和4年度4月は「静岡まつり」が開催され、久しぶりに多くの人で街中がにぎわったことで、ウィズコロナのフェーズになったのだと感じるスタートだった。その他にも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度、令和3年度に開催困難だった大型のイベントが3年ぶりに開催可能となったものが多く、中心市街地の通行量や観光客数が徐々に回復してきている。併せて令和4年度は、小規模のイベントも各所で開催が広がってきた。令和4年度の経済対策事業の一つとして、「まちは劇場 TRY`22」を実施したことで、各商店街や各実行委員会による小規模のイベントやマルシェ、コンサートなどが年間通じて各所で開催された。

しかしながら、令和4年度においても第7波の影響など、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は残っており、歩行者通行量や観光客数は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていない状況である。

今後、令和5年度5月には、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことで、さらにイベント等が活発に実施され、中心市街地の活性化につながっていくと考えられる。本市においても中心市街地の活性化施策を検討・実施すると共に、同じく活性化を目指す商店街や民間団体と連携し、相乗効果でにぎわい創出を目指していく。また、令和5年3月から清水港に外国客船の寄港が再開したことで海外からの旅行者も増加することが見込まれる。そのためインバウンド対策についても中心市街地活性化協議会等と共に検討し、実施していきたい。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日:毎年度12月31日)

(中心市街地 区域)	令和3年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)
人口	15,739人	15,692人
人口増減数	-	-47
自然増減数	-	-
社会増減数	静岡市算出不可	
転入者数	-	-

【静岡地区】

項目	令和元年	令和2年 (基準年)	令和3年	令和4年	基準値との 比較(%)	備考
歩行者通行量	6,538 人	4,217 人	5,680 人	5,688 人	134.9%	中心市街地内の 58 地点
中心市街地人口	15,728 人	15,772 人	15,739 人	15,692 人	99.5%	住民基本台帳
地価(千円/㎡)	1,500 千円/ /㎡	1,510 千円/ ㎡	1,450 千円/ ㎡	1,430 千円/ ㎡	94.7%	中心市街地区域内 の国交省公示価格 最高地点

2. 令和4年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

数値目標である観光客数や歩行者通行量は、基準値である令和2年度から令和3年度、そして令和4年度となるにつれ特に回復の傾向にある。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少しずつ緩和され中心市街地に人出が増えてきていると思われるが、未だに感染症拡大前までの数値には戻っておらず、依然として楽観視できない状況である。

令和5年3月より清水港にて外国客船の寄港が再開され、さらなるインバウンド対策が求められる。全国の先進的事例を参考にしながら、引き続き中心市街地の活性化を推進してもらいたい。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値から の改善 状況	前回の 見通し	今回の 見通し
魅力的な人とお店が 出会い新たな価値を創造 するまちづくりによる商 業機能の向上 (訪れたい商都)	主要な商 店街の空 き店舗率	5.9% (R2)	3.3% (R8)	5.5% (R4)	B	—	①
人々が訪れてみたいと 憧れを抱く個性あるまち づくりによるにぎわいの 創出 (にぎわいのある商都)	観光客数	524 千人 (R2)	1,374 千人 (R8)	1,106 千人 (R4) ※暫定値	B	—	①
居心地が良く暮らし続け られるまちづくりの推進 (住み続けたい商都)	中心市街 地人口	15,797 人 (R2)	16,499 人 (R8)	15,703 人 (R4)	C	—	①
共通目標	歩行者通 行量	4,218 人/日 (R2)	6,812 人/日 (R8)	5,688 人/日 (R4)	B	—	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

令和4年度の空き店舗率については、5.5%となり、基準年である令和2年度の数値より僅かに改善が見られた。令和4年度から新たにチャレンジショップ出店支援事業や中心市街地活性化協議会での空き店舗対策事業が開始されたことも一部要因と考えられる。令和5年度においても、引き続きチャレンジショップ出店支援事業を実施することに加えて、新たに一部商店街における空き店舗実態調査などを実施することから①目標達成が見込まれるとした。

令和4年度の観光客数は1,106千人/年という数値となり、R8目標値である1,374千人には達することはできなかった。しかし、令和2年度（基準値）と比べると観光客数が倍増していることや、令和5年には歴史博物館や大河ドラマ館が開館するなど、ポジティブな変化が見られることから、①目標達成が見込まれるとした。

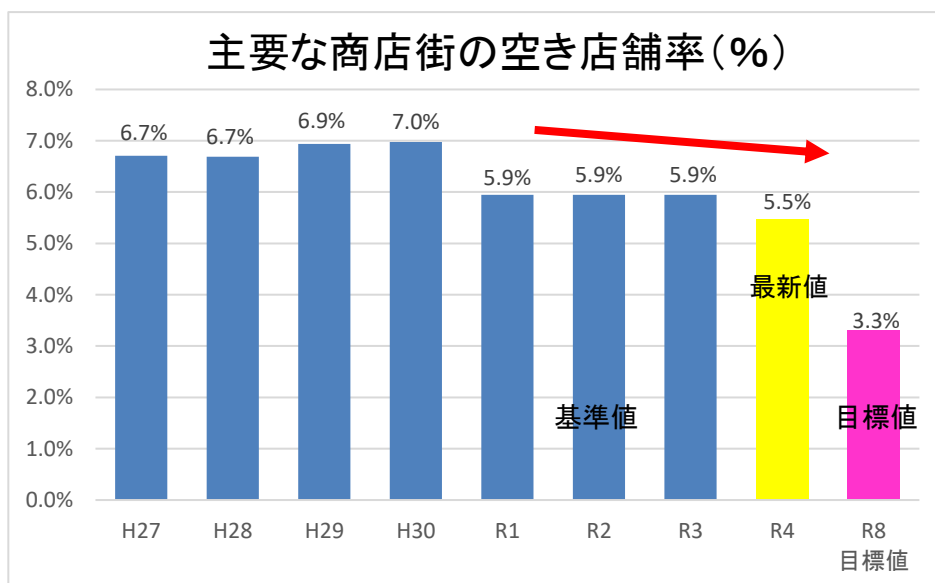
令和4年度の中心市街地人口については、目標値を約800人下回る15,703人という結果となったためC:基準値に及ばないとした。しかし、移住就業補助金の実績が昨年度を上回っている等、関連する事業の進捗状況は順調であるため、今後の見通しについては初年度の段階では①目標達成が見込まれると考える。

令和4年度の歩行者通行量は5,688人という結果となり、基準値である令和2年度からは改善されたが、未だコロナ前の水準には戻っていない。現在歩行者通行量については新型コロナウイルス感染症拡大の影響前の9割程にとどまっているが、今後、御幸町9番・伝馬町4番地区第一種市街地再開発事業の影響等による増加を見込んで初年度の判断では①目標達成が見込まれると考える。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「空き店舗率」※目標設定の考え方認定基本計画P.72参照

●調査結果と分析



※調査方法：商店街アンケート調査

※調査月：毎年8月頃

※調査主体：静岡市

※調査対象：中心市街地の主要な通り

〈分析内容〉

基準年である令和2年度に比べると、令和4年度は僅かに改善となった。チャレンジショップ出店支援事業や（仮称）空き店舗対策事業により出店を支援することで基準値よりは空き店舗率が減少しているが、目標値には達していない。

年	(%)
R2	5.9% (基準年値)
R3	5.9% (計画前)
R4	5.5%
R8	3.3% (目標値)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. チャレンジショップ出店支援事業（静岡市）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	大型商業施設等でのチャレンジショップの実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和4年4月～令和9年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	チャレンジショップ出店支援事業等を含む空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年4件の空き店舗の解消を目指している。 令和4年度に本事業で実施した中活区域内に立地する大型店への出店支援件数は4件だった。主に小売業が出店している。
事業の今後について	引き続き大型商業施設のスペースを活用し、中心市街地でテストマーケティング等のチャレンジショップを実施することで、県内の魅力的な店舗の出店を後押し、中心市街地の空き店舗解消につなげていく。

②. （仮称）空き店舗対策事業（静岡市中心市街地活性化協議会、静岡市）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	商店街等の空き店舗を活用したチャレンジショップの検討・実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和4年4月～令和9年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業等の空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年4件の空き店舗の解消を目指している。 令和4年度には空き店舗対策事業として、静岡市中心市街地活性化協議会において商店街空き店舗出店支援事業補助金を実施している。本補助金を利用し、中心市街地内に3件（小売業・飲食業）出店した。出店後も各商店街と連携しながら、事業を続けている。
事業の今後について	今後も静岡市中心市街地活性化協議会において継続して空き店舗対策事業等を実施することを検討し、より効果的な方法を実施していく。

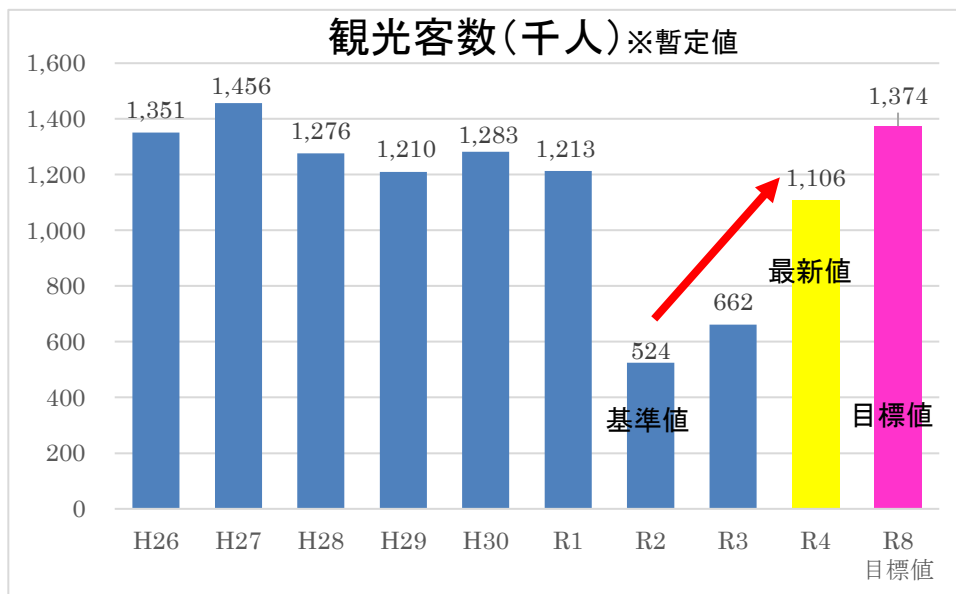
●目標達成の見通し及び今後の対策

静岡市歴史博物館が令和5年1月にグランドオープンした効果により、周辺エリアである中心市街地に店舗・事業所数が増加すると考えられる。また、令和5年1月から放映している大河ドラマ後においても継続的に効果が持続するよう、中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

令和4年度に中心市街地活性化区域内である七間町名店街と関係団体を含めたワークショップを開催し、空き店舗について対話を繰り返した。そして令和5年度は新しい取り組みとして、空き店舗の実態調査を七間町名店街内で実施していく。調査を実施・分析することでより効果的な施策へとつなげていく。

(2)「観光客数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 73 参照

●調査結果と分析



※調査方法：各施設・イベント事業者への文書照会を実施し、回答を集計

※調査月：毎年5～6月頃

※調査主体：静岡市

※調査対象：関係する各施設・イベントの合計

年	(千人)
R2	524 (基準年値)
R3	662 (計画前)
R4	1,072
R8	1,374 (目標値)

〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた令和2年度(基準年)に比べると、令和4年度は倍以上の観光客数となった。しかし、令和4年度においても新型コロナウイルス感染症拡大の影響(7～9月頃の第7波の影響など)のため、感染拡大前の水準には戻っていない。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 駿府城跡天守台発掘調査見える化事業（静岡市）

事業実施期間	平成 27 年度【実施中】
事業概要	天守台跡地の整備方針を検討するための発掘調査現場の公開
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和4年4月～令和9年3月
事業目標値・最新 値及び進捗状況	駿府城跡天守台発掘調査見える化事業を含む、駿府城公園及び静岡市美術館運営事業において約14千人/年の増加を見込んでいた。しかし、令和4年度においても新型コロナウイルス感染症拡大による第7波等の影響により、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていない。
事業の今後について	令和5年1月に静岡市歴史博物館がグランドオープンし、大河ドラマも放映開始されたことで、観光客が増えてきている。令和5年5月には新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となることで、さらなる観光客の増加が見込まれる。今後もアフターコロナに向けた取り組みを実施し、誘客につなげていく。

②. 駿府城跡天守台野外展示事業（静岡市）

事業実施期間	令和1年度～【実施中】
事業概要	発掘された2つの天守台の保存と活用を両立させた整備事業
国の支援措置名 及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（都市再生整備計画事業）（駿府ふれあい地区）令和4年度～
事業目標値・最新 値及び進捗状況	駿府城跡天守台野外展示事業を含む、駿府城公園及び静岡市美術館運営事業において約14千人/年の増加を見込んでいる。 本事業は、令和4年度に計画を作成し、令和5年度に設計、令和8年度までに完了予定である。
事業の今後について	令和4年度に作成した計画を元に、引き続き事業を進めていく。

③. 駿府城公園「桜の名所」づくり事業（静岡市）

事業実施期間	平成 27 年度～令和6年度【実施中】
事業概要	駿府城公園及び周辺部への桜の植樹（約 1,000 本）、効果的なライトアップ、周辺施設等との連携による桜めぐり等の実施
国の支援措置名 及び支援期間	なし
事業目標値・最新 値及び進捗状況	駿府城公園「桜の名所」づくり事業を含む、駿府城公園及び静岡市美術館運営事業において約14千人/年の増加を見込んでいた。

	しかし、令和4年度においても新型コロナウイルス感染症拡大による第7波等の影響により、コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていない。
事業の今後について	令和5年4月開催の静岡まつり内にて、植樹式を行うなど、連携して「桜の名所」づくりを引き続き実施していく。令和5年5月には新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となることで、観光客の増加が見込まれる。アフターコロナに向けた取り組みを実施し、誘客につなげていく。

④. 静岡市美術館運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成 22 年度～【実施中】
事業概要	静岡市美術館の運営
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	駿府城公園及び静岡市美術館運営事業において約14千人／年の増加を見込んでいた。しかし、令和4年度においても新型コロナウイルス感染症拡大による第7波等の影響により、コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていない。
事業の今後について	令和5年には、大河ドラマ関係の展示を開催し、大河ドラマ館や静岡市歴史博物館等と連携した取り組みを実施することでより効果的な相互誘客を図る。

⑤. 静岡市歴史博物館運営事業（静岡市）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	歴史博物館の運営
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	静岡市歴史博物館運営事業における効果により観光客数（来館者）を約350千人／年を見込んでいる。 令和4年度は7月にプレオープンし、令和5年1月にグランドオープンしている。令和5年1月から放映された大河ドラマの影響もあり、今後も多くの来館者を見込んでいる。
事業の今後について	令和5年1月には、静岡浅間神社内で大河ドラマ館がオープンし、各種サービスやスタンプラリー事業などを実施することで静岡市歴史博物館との相互誘客により、今後も引き続き来館者増加を図っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

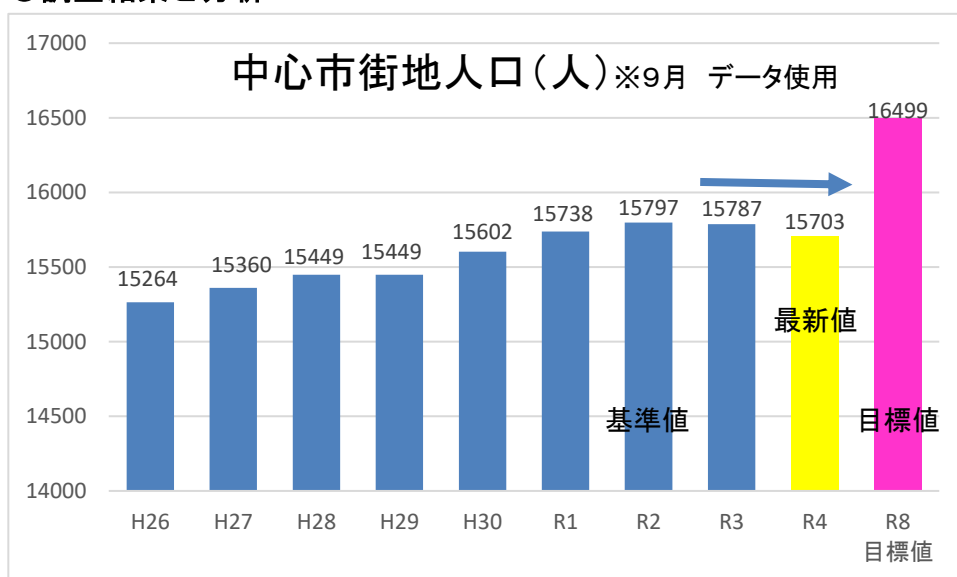
令和4年度においても新型コロナウイルス感染症拡大の影響（7～9月頃の第7波の影響など）を受け、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には戻っていない。

しかし、令和4年度4月には、3年ぶりに「静岡まつり」が開催され、多くの人でにぎわうなど、観光客数は急激に伸びている。加えて令和5年1月から放映している大河ドラマ関係による更なる観光客の増加が見込まれる。

また、令和5年3月より清水港への外国船の寄港が再開された。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大前の年度よりも多い外国船の寄港を見込んでいる。国内だけでなく、海外からの観光客を見据え、インバウンド対策についても実施検討していく。

(3)「中心市街地人口」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 74 参照

●調査結果と分析



※調査方法：静岡市住民基本台帳より

※調査月：毎年9月

※調査主体：静岡市

※調査対象：中心市街地

年	(人)
R2	15,797 (基準年値)
R3	15,787 (計画前)
R4	15,703
R8	16,499 (目標値)

〈分析内容〉

移住支援センター運営事業や静岡市移住・就職事業により、移住者への支援数の増加がみられるが、市内における自然動態による自然減が大きく、中心市街地人口が基準値より減少となっている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 静岡市移住・就職事業（静岡市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	東京圏から静岡市に移住し、就業・起業する際の助成
国の支援措置名	なし

及び支援期間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>本事業は市内への移住・定住促進を目的に市内への移住者が就業・企業をする際の助成を行っている。本事業により、1年に2.6人の増加を見込んでいるが、今年度はそれを上回る約23人の増加となった（令和4年度最新値：補助金利用者44人×0.7×0.75÷23人。一部制度改正による増加分を含む）。</p> <p>しかし、中心市街地人口の目標は16,499人であるのに対し、最新値は15,703人という結果となり、目標を下回る結果となった。</p>
事業の今後について	<p>本事業により、移住希望者については増加傾向にあると思われる。今後も、移住支援センター等と連携し、引き続き事業を実施していく。</p>

②. 移住支援センター運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	静岡市移住支援センター（東京・有楽町）の運営
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>移住支援センター経由による静岡市への移住者は、令和3年度に76名、令和4年度に107名と増加傾向にあるが、中心市街地人口は減少しており、基準値を下回る結果となった。</p> <p>（令和4年度最新値：103人×0.7×0.75÷54人）</p> <p>本事業は首都圏から市内への移住・定住促進を目的に移住支援センターの運営を行っている。本事業では、1年に27.8人の増加をみこんでいるが、今年度は目標を大幅に上回る54人の増加となった。</p> <p>しかし、中心市街地人口の目標は16,499人であるのに対し、最新値は15,703人という結果となり、目標を下回る結果となった。</p>
事業の今後について	<p>本事業により、移住希望者については増加傾向にあると思われる。今後も、他の移住施策等と連携し、引き続き事業を実施していく。</p>

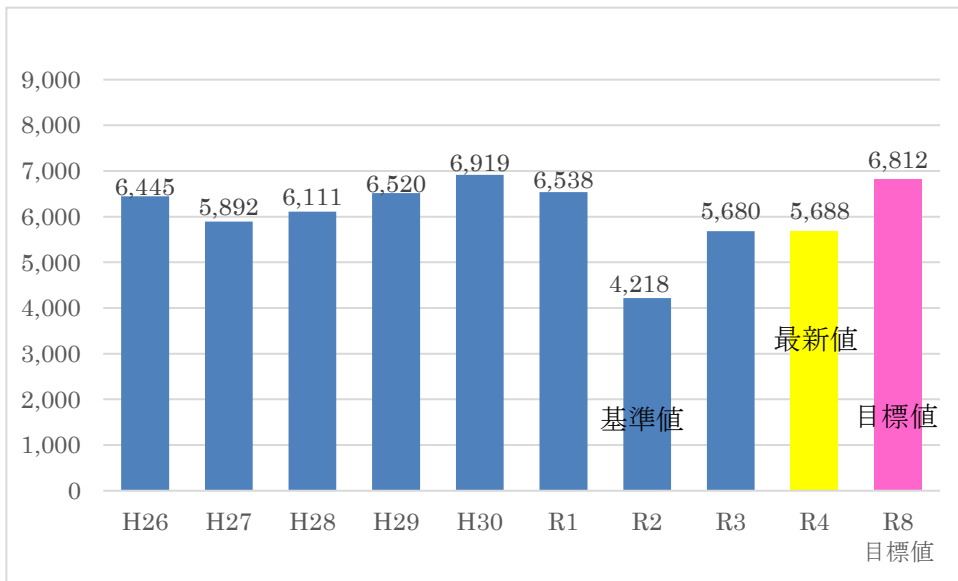
●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地人口については、基準値である令和2年度までは緩やかな増加であったが、令和3年度、令和4年度と徐々に減少している。静岡市全体で依然として出生数が減少傾向にあるなどが要因と考えられる。

しかし、移住支援センター運営事業や静岡市移住・就職事業での支援件数の増加を考えると、本市への移住希望者は増加傾向にあるのではないかと考えられる。今後も引き続き移住促進を進めると同時に、地域おこし協力隊の制度を活用するなど、中心市街地の活性化と移住促進を図っていく。

(4) 「歩行者通行量」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 75～P. 77 参照

●調査結果と分析



※調査方法：中心市街地内の79地点で、人が目視にて確認

※調査月：毎年11月最終日曜日の10時～17時

※調査主体：静岡市中心市街地活性化協議会

※調査対象：小学生以上の歩行者

年	(人)
R2	4,218 (基準年値)
R3	5,680 (計画前)
R4	5,688
R8	6,812 (目標値)

内は地上、 内は地下道の通行量
 上段は2022年(R4)、下段は2021年(R3)の通行量(単位:人)
 ※各ブロックに付記した数字は、9、10ページ歩道両側ブロック通行量のNo.1～55に対応
 ただし、地下昇降口の3地点(No.14,15,30)は除く



NO		2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	前年差 (人)
1	J R 静岡駅南口	7,180	4,961	6,301	6,717	416
2	J R 東海静岡支社前	5,741	4,764	5,887	6,032	145
3	パルシェ前中央地下道	30,412	16,932	24,241	27,841	3,600
4	国道横断ななめ地下道	16,964	10,256	15,205	14,846	-359
5	松坂屋前中央地下道	21,685	12,902	18,898	17,054	-1,844
6	紺屋町葵タワー前東地下道	4,059	2,813	3,374	2,672	-702
7	旧三菱UFJ信託銀行ビル前地下道	4,310	2,921	3,806	3,129	-677
8	松坂屋地下入口前地下道	7,863	5,457	6,643	6,154	-489
9	ミマツ駅前ビル前 (地下道昇降口 K3 付近)	4,420	2,337	4,034	4,220	186
10	静岡パルコ前	15,816	6,978	11,686	10,034	-1,652
11	トラヤ前	6,497	3,439	4,698	4,822	124
12	小梳神社横 (御幸町・紺屋町間)	7,545	4,818	6,253	5,978	-275
13	旧三菱UFJ信託銀行前地下道	2,566	1,959	2,756	2,475	-281
14	紺屋町ビル前地下道 (旧かに本家前地下道)	1,443	833	1,041	955	-86
15	TC21ビル前	10,997	7,093	9,967	9,731	-236
16	タリーズコーヒー静岡紺屋町店前	9,501	6,413	9,242	9,515	273
17	旧クーポール会館前	8,375	5,471	7,503	7,673	170
18	旧クーポール会館前地下昇降口	670	357	450	468	18
19	服部蒲鉾店前地下昇降口	2,752	1,626	2,136	1,987	-149
20	中島屋ビル前	2,551	1,658	2,239	2,548	309
21	ランドマーク呉服町横	1,762	1,178	1,579	1,818	239
22	静岡銀行呉服町支店前	3,558	2,329	2,834	3,280	446
23	スターバックスコーヒー呉服町通り店前	10,600	6,561	9,151	9,489	338
24	サンカメラ前	9,540	6,248	8,829	9,365	536
25	三保原屋前	10,709	7,137	10,688	9,251	-1,437
26	100 えんハウスレモン呉服町店前 (旧谷島屋前)	8,167	5,865	7,617	8,252	635
27	唐木屋薬局前	8,362	6,251	7,932	8,093	161
28	安心堂本店前	5,909	4,132	5,773	5,325	-448
29	静岡伊勢丹前 (呉服町通り側)	3,006	2,442	2,955	2,964	9
30	札の辻クロス前	4,506	3,930	4,228	5,087	859
31	すみやグッディ前	3,544	3,143	3,682	3,374	-308
32	静岡伊勢丹前 (七間町通り側)	2,391	2,243	2,500	3,254	754
33	トンボヤ本店前	2,942	1,690	2,173	2,652	479
34	リーガル・シューズ前	2,216	2,005	2,793	2,478	-315
35	ニット菊屋前	2,161	1,491	1,931	2,184	253
36	旧静岡北ワシントンホテルプラザ前	1,613	1,799	2,687	2,240	-447
37	Kビル前	1,492	1,235	1,579	1,693	114

38	ザ・エンブル七間町前	2,332	2,326	2,889	2,892	3
39	PIVOT静岡ビル前	1,745	1,967	2,092	1,704	-388
40	JADEビル前	2,004	1,408	1,968	2,070	102
41	御幸ビル前	2,219	1,421	2,598	2,564	-34
42	御幸町9番地再開発ビル建設中(松乃館前地下昇降口)	5,649	3,686	4,451	4,125	-326
43	御幸町9番地再開発ビル建設中(鈴木たばこ店前)	8,855	6,220	7,390	6,958	-432
44	御幸町9番地再開発ビル建設中(鈴与御幸町ビル横)	11,003	7,868	7,842	7,688	-154
45	静岡モディ入口前(けやき通り側)	20,844	12,077	14,425	13,997	-428
46	野村證券静岡支店前	5,009	3,128	4,172	3,591	-581
47	JTB静岡支店横	11,284	7,114	10,568	9,922	-646
48	三菱UFJモルガン・スタンレー証券前	2,745	1,639	2,287	2,436	149
49	DenBill [電ビル] (御幸通り側)	2,449	1,479	1,821	1,868	47
50	DenBill [電ビル] (江川町通り側)	4,859	3,102	3,999	4,428	429
51	ペガサート前(北街道側)	5,571	3,239	4,795	5,241	446
52	四葉商会静岡店前	4,322	2,671	3,532	3,721	189
53	静岡東急スクエア前	1,697	1,122	1,419	1,573	154
54	トップセンタービル前(伝馬町通り)	1,073	830	995	1,076	81
55	新静岡セノバ前南口モール(アップル薬局前)	27,179	16,980	23,134	22,710	-424
56	新静岡駅前(TAKAJYOビル1F花城横)	1,385	961	1,378	1,573	195
57	越後屋ビル前	1,646	845	1,232	1,755	523
58	薬科銘茶杉山園前	1,509	875	1,170	2,339	1,169

〈分析内容〉

歩行者通行量は基準年である令和2年度より回復しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響前の9割程にとどまっている。また、最新値(令和4年度)が、前年度(令和3年度)よりも増加した地点は33カ所(58地点中)。回復傾向にある地点が多い一方、25地点は通行量の戻りが鈍っている。

なお、昨年度に引き続き、「札ノ辻エリア」～「七間町エリア」近隣の歩行者通行量は新型コロナウイルス感染症拡大の影響前よりも増加傾向。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①.【再掲】静岡市歴史博物館運営事業(静岡市)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	歴史博物館の運営
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和4年度7月にプレオープンし、令和5年1月にグランドオープンしたことで、59人/日の増加を見込んでいる。 しかし、通行量調査の実施が11月であり、グランドオープン前

	に実施したため、令和4年度においては静岡市歴史博物館周辺地点の通行量は微増にとどまっている。
事業の今後について	令和5年1月には、静岡浅間神社内で大河ドラマ館がオープンし、スタンプラリー事業等が実施されるなど、静岡市歴史博物館との相互誘客により通行量増加を図っていく。

②. 御幸町9番・伝馬町4番地区第一種市街地再開発事業

(御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発組合)

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】
事業概要	商業・業務・学校等の整備を図る再開発事業の実施(面積約 0.3ha、延べ面積約 18,000 m ²)
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(住環境整備事業-市街地再開発事業) 令和2年度～令和5年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業の完了により、買物客・来店者の増加や学生の増加により215人/日の増加を想定している。 令和3年度6月に再開発ビル建設工事を着手しており、令和6年4月に再開発ビルがオープン予定である。現在は工事中である影響もあり、周辺地点である42,43,44地点において通行量の減少がみられている。
事業の今後について	再開発ビルがオープンすることで、買物客・来店者の増加や学生の増加が見込まれる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、加えて令和5年1月から放映している大河ドラマ関係による観光客の増加が見込まれるため、通行量も増加していくと考えられる。また、静岡市歴史博物館や大河ドラマ館を含む中心市街地でのスタンプラリー事業などの実施により通行量の増加につなげる。